

問1 天皇に権力を集中させ、全国を統一的に支配する国づくりを目指す体制を何という？

1. 連合国家 2. 中央集権国家 3. 都市国家 4. 封建国家

問2 唐や新羅からの侵攻に備えて、九州北部の防衛のために配置された兵士を何という？

1. 庚午年籍 2. 租庸調 3. 防人 4. 班田収授法

問3 飛鳥時代に摂政として政治を行い、法隆寺などを建立した人物は誰？

1. 聖徳太子 2. 藤原不比等 3. 中臣鎌足 4. 蘇我馬子

問4 聖徳太子によって建立され、世界最古の木造建築物群として飛鳥文化を象徴する寺院を何という？

1. 東大寺 2. 中尊寺 3. 四天王寺 4. 法隆寺

問5 663年に、百済復興を目指した日本軍が唐・新羅の連合軍に大敗した戦いを何という？

1. 白村江の戦い 2. 壬申の乱 3. 承久の乱 4. 関ヶ原の戦い

問6 百済などの朝鮮半島諸国から、高度な技術や学問を持って日本へ移り住み、飛鳥時代の国づくりに貢献した人々のことを何という？

1. 年寄 2. 渡来人 3. 庄屋 4. 豪族

問7 7世紀後半、壬申の乱で勝利し、天皇を中心とした国づくりを強力に進めた天皇は誰？

1. 天智天皇 2. 持統天皇 3. 天武天皇 4. 文武天皇

問8 釈迦三尊像などに見られる、左右の形が同じになっている特徴を何という？

1. 禅宗様 2. 和様 3. 大仏様 4. 左右対称

問9 飛鳥時代、仏教の採用をめぐって蘇我氏と激しく対立した有力豪族を何という？

1. 大伴氏 2. 物部氏 3. 中臣氏 4. 蘇我氏

問10 672年に天智天皇の死後、後継をめぐって起きた内乱を何という？

1. 応仁の乱 2. 承久の乱 3. 壬申の乱 4. 元弘の乱

問11 奈良県の法隆寺などが該当する、飛鳥時代に日本で発展した現存する最古のものは何？

1. 木造建築物 2. 鉄筋コンクリート建築物 3. レンガ造建築物 4. 石造建築物

問12 白村江の戦いのあと、日本に亡命してきた人々など、大陸から高い技術をもたらした人々を何という？

1. 地頭 2. 御家人 3. 守護 4. 渡来人

問13 日本が隋や唐の国家体制を手本にして、後に整えていった法典に基づく統治のしくみを何という？

1. 律令制度 2. 大化の改新 3. 班田収授法 4. 封建制度

問14 聖徳太子が役人の心得として、仏教の「仏・法・僧」を敬うことを記した文書を何という？

1. 大宝律令 2. 冠位十二階 3. 十七条の憲法 4. 大化改新の詔

問15 十七条憲法において、政治の指針として取り入れられた、インドで生まれ朝鮮半島を経由して伝わった宗教は何？

1. 道教 2. 仏教 3. 儒教 4. 神道

答え合わせ・解説

問1	答え 2 中央集権国家	中央集権国家とは、天皇や朝廷が中心となって、全国の土地や人民を管理し、法律に基づいて統治を行う体制のことです。冠位十二階や公地公民といった制度は、まさにこの体制を実現するための手段でした。
問2	答え 3 防人	政府は国防を最優先の課題とし、九州の北部に「防人」を配置して警備を強化しました。また、九州各地や瀬戸内海沿岸には水城や山城を築き、万が一の侵攻に備える軍事施設を整えました。これらの防人は、東国などから選ばれた農民が任期を終えて交代で任務にあたるものでした。
問3	答え 1 聖徳太子	聖徳太子は推古天皇の摂政として、冠位十二階や十七条の憲法を制定し、能力重視の政治や天皇を中心とする秩序を作ろうとしました。また、仏教を深く崇敬し、法隆寺などを建立して文化の発展を支えました。
問4	答え 4 法隆寺	法隆寺は、聖徳太子によって建立された日本最古級の寺院です。現存する金堂や五重塔などの建物は、世界で最も古い木造建築物群としてユネスコの世界文化遺産にも登録されています。当時の建築技術や仏教美術の粋を伝えており、飛鳥時代の高度な国際交流の様子を現代に伝えています。
問5	答え 1 白村江の戦い	663年、日本は百済の遺臣とともに大軍を派遣しましたが、白村江で唐と新羅の強大な連合軍に大敗を喫しました。この敗戦は、当時の日本にとって国際的な大きな転換点となりました。
問6	答え 2 渡来人	渡来人は、漢字や儒教、仏教などの学問のほか、機織り、金属加工、土木技術、須恵器の製作法など、高度な知識や技術を日本にもたらしました。彼らの技術は、大和政権の国づくりや、寺院の建設、都市計画に不可欠なものとなりました。
問7	答え 3 天武天皇	天武天皇は飛鳥浄御原宮に都を定め、天皇を頂点とする専制的な政治体制を確立しました。また、歴史書である『日本書紀』の編纂を命じ、富本銭の鑄造を行うなど、国の基盤整備に力を注ぎました。
問8	答え 4 左右対称	釈迦三尊像に見られる「左右対称」の形は、当時の大陸の様式を忠実に受け継いだ証拠です。中心の仏像の両側に脇侍を配し、均整のとれた安定感のある姿をすることで、仏の尊厳や穏やかさを表現しました。
問9	答え 2 物部氏	物部氏は日本古来の信仰を守る立場から、蘇我氏が推し進める仏教の導入に強く反対しました。両者は政治的、宗教的に激しく対立しましたが、最終的に蘇我氏が勝利したことで、日本における仏教の公認が決定しました。
問10	答え 3 壬申の乱	672年に勃発したこの内乱は「壬申の乱」と呼ばれます。地方の豪族を味方につけた大海人皇子側が勝利し、大友皇子は敗北して自害しました。これは、当時の有力な皇族同士による最大規模の内乱となりました。
問11	答え 1 木造建築物	法隆寺の金堂や五重塔などの西院伽藍は、現存する世界最古の木造建築物です。当時の優れた技術を示しており、エンタシス（柱の中央が膨らむ技法）などの特徴が見られます。
問12	答え 4 渡来人	渡来人たちは、土木建築、製鉄、機織り、漢字や儒教などの学問といった、当時としては極めて高度な技術や知識を日本に伝えました。特に白村江の戦いの後の防衛施設建設や、寺院の建立には彼らの技術が不可欠でした。
問13	答え 1 律令制度	律令制度とは、刑罰を定めた「律」と、行政や税の決まりである「令」からなる法体系のことです。飛鳥時代の聖徳太子の時代から準備が始まり、大陸の制度を参考にしながら、天皇を頂点とした官僚的な政治システムを構築しました。これにより全国の土地や人々を直接管理することが可能となりました。
問14	答え 3 十七条の憲法	604年に制定されました。役人が守るべき心構えを全17条で記しており、その第2条には「三宝（仏・法・僧）を敬うこと」が説かれています。儒教的な考え方や仏教の教えに基づき、和を大切にすることなどを強調しました。
問15	答え 2 仏教	仏教は神道と共存しながら急速に広まり、特に聖徳太子がその普及に努めました。法隆寺などの寺院が建立され、仏像や彫刻などの仏教芸術も発展しました。十七条憲法でも、仏教を篤く敬うことが説かれています。